

「Diginnos パソコン」内部の作業をする場合

- 内部電子部品の破損を防ぐため、電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いて20秒以上たってから作業を行ってください。
- ケースの角や内部の尖ったところ等でけがをしないよう、必ず防護用手袋を着用し、注意して作業を行ってください。
- 電源を切った直後はパソコン内部に高温になっているパーツがあるため、作業は内部の温度が下がるまで時間を置いてください。(15～30分)
- 内部電子部品の破損を防ぐため、ケースなどの金属部分に手を触れて、静電気を逃がしてから作業を行ってください。
- 金属の接点部分には触れないようにしてください。皮脂等が付着することにより、接触不良の原因となります。
- 作業中は電子部品の破損しないよう、注意して作業を行ってください。どんなに小さな部品でも破損すると作動しません。
- 一度に複数の増設は行わず、一つずつ行ってください。

Diginnosパソコンの保証について

Diginnosパソコンの保証は、通常・延長保証あるいはパソコン保険加入に関わらずご購入時の構成であることを原則としております。お客様側で内部構成の変更をされた状態では弊社保証、及び保険適用対象外となります。検証修理をご用命の際には、ご購入時の構成に戻したうえでご依頼ください。

増設・交換作業時の注意

作業中の手違いや過失でパーツやパソコン本体が故障してしまった場合は保証対象外となります。自分ではできないと感じたら、無理をせずにお買い上げいただいたドスパラ店舗、またはデジノスサポートセンターまでご相談ください。

※ただし、別途パソコン保険に加入されている商品については作業中の手違いや過失でも保証対象となる場合があります。

ハードディスクマウンタの外し方

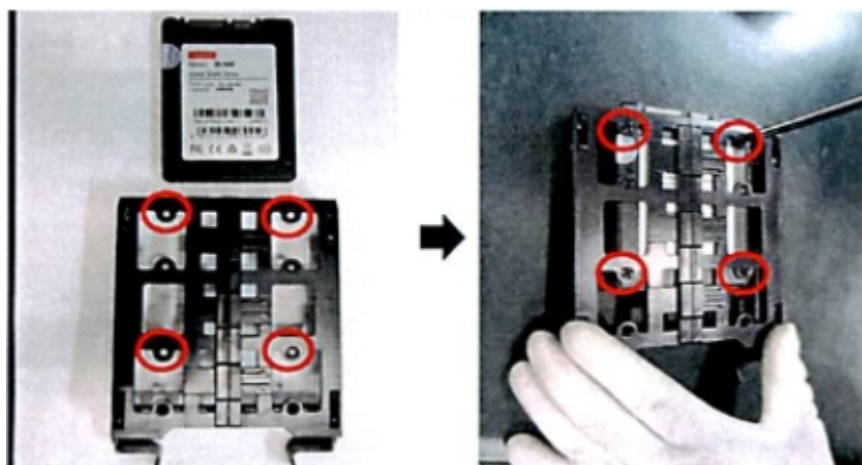
ハードディスクマウンタは、3.5 インチベイに装着されています。

- ① ハードディスクマウンタの取っ手左右をつまみ、ラッチを外します。
- ② ラッチを外したまま、手前に引き出します。



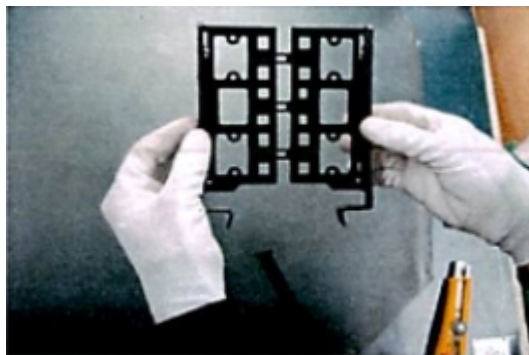
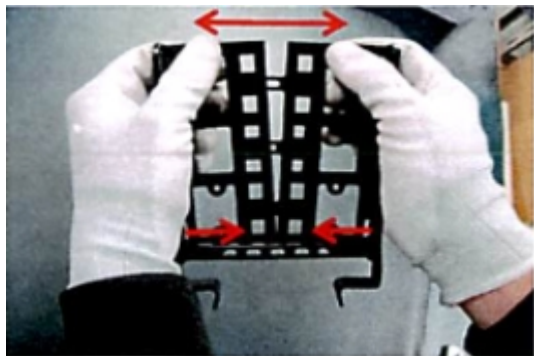
2.5 インチハードディスクドライブ / ソリッドステートドライブの取り付け方

- ① 2.5 インチドライブ、ハードディスクマウンタを裏返し、互いのねじ穴を合わせます。
取っ手の反対側にドライブの接続端子側を合わせます。
- ② ミリねじ(M3X5)4本を取り付けます。
- ③ 3.5 インチベイにドライブ付きマウンタを、ラッチがカチッと嵌合するまで挿入します。

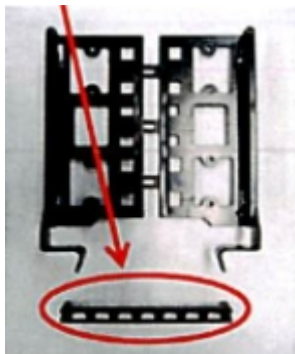


3.5 インチハードディスクドライブの取り付け方

- ① ハードディスクマウンタを図のように広げます。

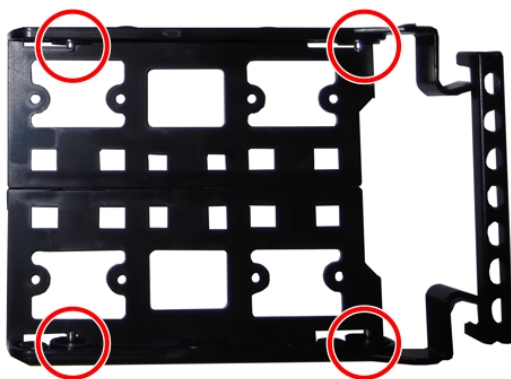


取っ手ブリッジ部は不要です。

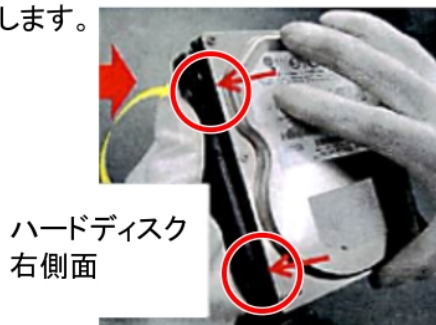


- ② ハードディスク側面 4 箇所のねじ穴に、ハードディスクマウンタを閉じながら、固定用ピンを挿入します。

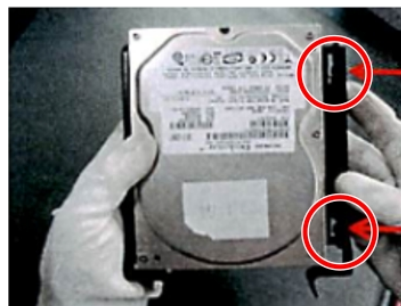
ハードディスク固定用ピン
ハードディスクの側面ねじ穴 4 か所に
挿入します。



ハードディスク固定用ピン
ハードディスクの側面ねじ穴 2 か所に
挿入します。



ハードディスク固定用ピン
ハードディスクの側面ねじ穴 2 か所に
挿入します。



- ③ 固定用ピンを挿入後裏返して、広げた
ハードディスクマウンタが閉じられてい
ることを確認します。

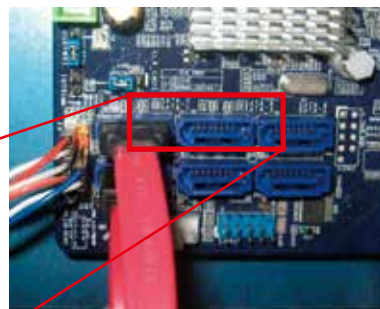


- ④ 3.5 インチベイにドライブ付きマウンタを、ラッチがカチッと嵌合するまで挿入します。

ハードディスクを接続する

● ケーブルを接続する

- 1 マザーボードに新しい SATA ケーブルを接続します。
SATA ケーブルをマザーボードの SATA コネクタに接続します。
コネクタには識別番号が割り振られています。
数字の若い空きコネクタから接続します。



- 2 ハードディスクのコネクタに SATA ケーブル・電源ケーブルを接続します。



● Windows でハードディスクを設定する

ハードディスク接続後に Windows にてハードディスクの設定を行います。

ハードディスクのフォーマットについては、下記 FAQ をご参照ください。
「Windows パソコンの新規 HDD の導入について」
<http://faq3.dospara.co.jp/faq/show/1343>



交換作業時の注意

● ラッチ付き SATA ケーブルの注意

必ず、ラッチ部を押しながらケーブルを抜いてください。
※そのまま抜くとコネクタ破損の原因となります。



● SATA ケーブルの取り扱い時の注意

コネクタ部分をつまみ抜き差しを行ってください。
※ケーブルを持って引き抜くと破損の原因となります。



● ハードディスク取り扱い時の注意

ハードディスクの底面は、基板が露出しています。
誤って素手で触らないようにしましょう。

